

簡易操作ガイド

★メニュー選択

選択手順

- (1) 質量表示中に **CAL/MENU** キーを押します。
- (2) “CAL” が表示されます。
- (3) 以後、**CAL/MENU** キーを押す毎に下図の順に表示が変わっていきます。
- (4) 希望する項目に相当する表示にして **TARE** キーを押せば、その条件に設定されるかまたは、1つ下の階層へ分岐します。

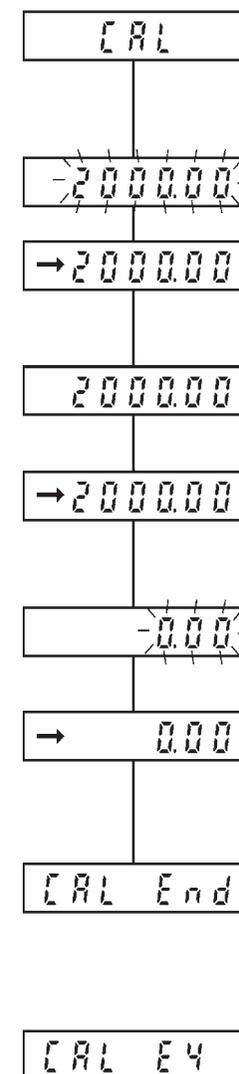
質量表示	
<感度校正モード>	
<現在の設定条件表示>	
<通常使用モード>	
<はかりとりモード>	
<高安定モード>	
<応用測定, 単位登録, 個別設定モード> (裏面参照)	
<校正用分銅値設定> (取扱説明書参照)	
入出力フォーマット設定モード (取扱説明書参照)	
質量表示	

- 振動や風などで、表示の安定が悪い場合には、“Hi-Stb” (高安定モード) に設定してください。
- より高速ではかりとり作業を行う場合、またはごく少量の試料のはかりとり作業を行う場合は、“SAMPLE” (サンプリングモード) に設定してください。

★感度校正

手順

- (1) 十分に暖機します。⇨ 取扱説明書参照
- (2) 水平を確認します。
- (3) 皿の上の物を降ろし、**TARE** キーを押して、表示をゼロにしておきます。
- (4) メニュー選択に従い、**CAL/MENU** キーを押して、“CAL” 表示にします。
- (5) **TARE** キーを押して、感度校正を開始します。
- (6) 設定されている分銅値が表示され、点滅します。
- (7) 安定マークが点灯していることを確認します。
- (8) 校正に使用する分銅を皿に載せます。このとき1度、安定マークが消えます。
- (9) 再度安定マークが点灯したら、**TARE** キーを押します。
- (10) 表示がゼロ表示になり、表示が点滅します。安定マークが点灯していることを確認します。
- (11) 分銅を降ろします。
- (12) 再度安定マークが点灯したら、**TARE** キーを押します。
- (13) “CAL End” が数秒間表示され、質量表示に戻れば感度校正終了です。
- (14) 感度校正に使用する分銅が間違っていた場合には、“CAL E4” が数秒間表示され質量表示に戻ります。分銅を確認してから再度感度校正を行ってください。



★個数測定

手 順

- (1) 単位の登録に従い個数単位を登録します。
⇨下記参照
すでに個数単位が登録してある場合は、再度登録する必要はありません。
- (2) 皿の上に風袋をのせ **[TARE]** キーを押します。
- (3) 基準試料を設定したい個数分、載せます。
- (4) 安定マークが点灯したことを確認します。
- (5) **[UNIT]** キーを押し続けると個数設定モードに入り表示が“**5 E t 10^{PCS}**” “**5 E t 20^{PCS}**” “**5 E t 50^{PCS}**” “**5 E t 100^{PCS}**” と変化します。
個数設定モードに入れば **[UNIT]** キーを押す毎に、個数設定表示を **10^{PCS}** → **20^{PCS}** → **50^{PCS}** → **100^{PCS}** と変えることができます。
- (6) 設定したい個数表示にして **[TARE]** キーを押します。
- (7) “**5 E t**” が数秒間表示され、個数表示になります。基準試料質量が最小表示×設定個数以下の場合には個数設定ができません。この場合は、“**E r r 20**” が数秒間表示され質量表示に戻ります。

0.000

5 E t 20^{PCS}

5 E t

E r r 20

★パーセント表示

手 順

- (1) %単位を登録します。⇨下記参照
すでに%単位が登録してある場合は、再度登録する必要はありません。
- (2) 皿の上に風袋を載せ **[TARE]** キーを押します。
- (3) 基準試料を載せます。
- (4) **[UNIT]** キーを押し続けて、“**5 E t 100%**” 表示にします。
- (5) 安定マークが点灯したら **[TARE]** キーを押します。
- (6) “**5 E t**” が数秒間表示され、%単位表示になります。
基準試料質量 (REF.) により最小表示値が変わります。
%換算不可能の場合は、“**E r r 20**” が数秒間表示され質量表示に戻ります。

0.000

5 E t 100%

5 E t

E r r 20

★単位の登録・解除・切り換え

登録手順

- (1) **[CAL/MENU]** キーを押し、“**F u n c . 5 E t**” 表示を選択します。
(**[TARE]** キーを押します。)
- (2) **[CAL/MENU]** キーを押し、“**U n i t . 5 E t**” 表示を選択します。
(**[TARE]** キーを押します。)
- (3) 登録できる単位が **[CAL/MENU]** キーを押す毎に表示されます。単位は、g, kg, ct, pcs, %の5種類の中から3種類登録できます。ただし、%と個数は同時には登録できません。また、現在登録されている単位表示には安定マークが点灯します。
- (4) 登録したい単位表示のときに **[TARE]** キーを押すと、その単位が登録されます。
登録の際、すでに3種類の単位が登録されている場合には、最も登録時期が古いものが解除されます。ただし、PCS と%は不

要な方を解除してからでないと登録できません。

- (5) **[POWER/BRK]** キーを押し続けて重量表示に戻します。

解除手順

左記(1)～(3)の操作を行い、単位表示にします。現在登録してある単位表示のとき(安定マークが点灯している)再度その単位を選択すると登録が解除されます。

単位の切換手順

単位の切り替えは **[UNIT]** キーを押すたびに登録してある単位が切り換わります。
ただし、%、PCS 単位は登録を行っていても、基準値の設定を行わない限りこの単位には切り換わりません。